

新庄市民プラザ・ふれあい市民ギャラリー

「アート of 息吹」 展Ⅱ

2014年 3月23日(日)～3月30日(日)

9:00-19:00(最終日は17:00まで) ●25日(火)は休館

新庄市民プラザ 1階展示ホール・2階ギャラリー

入場無料

アート(美術)は、遠い昔から未来までをつなぎ、世代や国境を越えて、人々の生活に感性の潤いをあたえてきました。このたびの第2回展は、県立新庄南高等学校美術部校外展との協同開催となり、春の息吹とともに幅広い年代の作品たちが、2つの展示空間のなかで、新たな対話を生み出すことでしょう。ご高覧の上、ご批評いただければ幸いです。

〈アートの息吹展実行委員会〉

【出品者・順不同】

■菅井 美和 (すがいみわ)

新庄市在住

「ため息でいっぱい」	F 4	日本画
「おやすみなさい」	F 1 0	日本画
「あの頃は」	1 2 5 × 8 0 cm	日本画

私は、ある場面や場所を見た視点から感じた気持ちを絵に描いてきました。それぞれの気持ちを私の絵から感じていただければ嬉しいです。



■金 寛美 (こんひろみ)

舟形町在住

「生きていること と 死んでいくということ」 陶・生花

自分の力ではどうにもならないコトが世の中にはたくさんある。そういうものに左右されない自分を作りたいと思っていたけど、ムリだということに気がついた。

すべてが自分なんだと。土偶はいうのです。

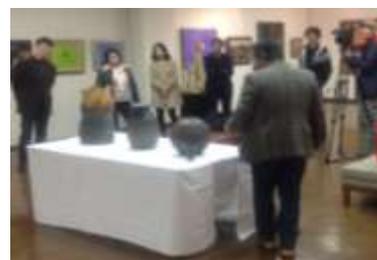


■叶内 章二 (かなうちしょうじ)

新庄市在住

「黒煙焼成 壺Ⅰ」
「黒煙焼成 壺Ⅱ」

今年も自分なりの世界で、作陶に取り組んでみたいと思っています。



■高橋 美和 (たかはしみわ) 山形市在住

「今日のこと」 35×18×20 石膏

この度は素敵な機会をいただきありがとうございます。
作品のモデルは同じ彫塑研究室所属の新潟出身の友人
です。こんな出会いも、新庄で美術に親しんだことが
きっかけなのだな、としみじみ思いました。



■板垣 芳 (いたがきかおり) 新庄市在住

「痕」 B3 油彩

「雪」 39cm×39cm 油彩

「キミノユクエ」 A4 切り絵

雨が降り、雪が降り、風が吹きつけた。そうやって時間を積み重ねた”痕”に魅力を感じます。自然が刻んだ偶然を作ること
はできないけれど、それでもそんな魅力を作り上げてみたい。



■涌井 良 (わくいりょう) 新庄市在住

「自然釉花入」

今回の作品は前回と違って小さく細かい作品なっています。もともと細かい作品をつくるのが好きなので、自分も楽しみながらつくことができました。
。



■小川 浩道 (おがわひろみち) 新庄市在住

「春」 35cm 石膏

「夏」 38cm 石膏

今回は新庄南高校の生徒さん達とのコラボということで大変うれしく思っています。中学時代に教えた生徒たちが何人かいて、その子たちがこんなに素晴らしい絵を描いているとは！若い人たちが育っていることは私にとって大きな喜びです。新庄最上の未来に幸あらんことを。



■奥山 洋 (おくやまひろし) 新庄市在住

「home」

「習作」

最近あるところで私の先生の作品を見つけました。ずいぶん前にも見たことがあったのですが、この前見たときもその作品に感動しました。いつか、そんな作品を作りたいです。



■加藤 良哉 (かとうよしや) 新庄市在住

「 絆 」 段ボール
生活の中のさまざまな素材が、アートになる。その素材といかに友だちになれるか…。エコアートのおもしろさがそこにある。



■伊藤 彩香 (いとうあやか) 新庄市在住

「Chum Sofa」 70×140×70cm 曲げ木(ナラ材)
「子ども用椅子」 30×30×30cm 成形合板(ブナ材)
「照明器具」 25×40cm 耐熱シート・ステンレス
大学でプロダクトデザインについて学び、演習で制作したものの一部です。成形合板や曲げ木、金属溶接などの技術に挑戦し、素材の特徴を生かすことを心がけて、製作しました。



■布施 弘好 (ふせひろよし) 三川町在住

「静寂の森」 H320×W500×D320(mm) 木彫
「環」 H410×W440×D320(mm) 木彫

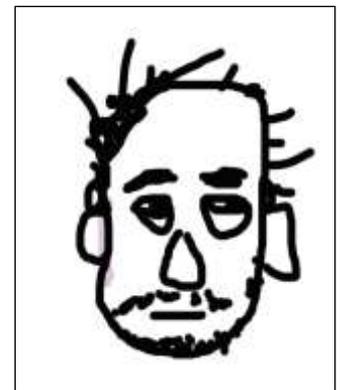
先日、新庄南高校時代の卒業生に偶然会いました。もう大学を卒業し、立派に仕事をしているそうです。月日が経つのは早いものです…。その頃とあまり変わらない自分にもどかしく感じながらも、いつかは普遍的な作品が出来ればいいなと思いながら制作しています。



■中原 淳 (Nakahara Atsushi) 新庄市在住

「殉教車輪」 立体 80cm×30cm×30cm
「殉教車輪」 立体 90cm×30cm×50cm
「殉教車輪」 平面60cm×50cm
「殉教車輪」 平面70cm×60cm

芸術にマグレは無い。



■奥山 敏彦 (おくやまとしひこ) 新庄市在住

「月光」 P40 油彩
「明日へ」 F20 アクリル
「裸婦」 B2 パステル

異なる画材、マチエールで表現した3作です。「月光」は自我と自然を、「明日へ」は東北の復興への願いを描きました。まだまだ様々なテーマに挑戦していきたいと思います。



■上村 隆士 (かみむらたかし) 新庄市在住

「演奏会の朝」 F 8 0 油彩
「蚕糸の杜」 P 1 0 油彩

春を待つ最上の地。美しさと厳しさ、理不尽さが同居する。
そんな情景や、人の気質を見つめていく画風にしたい。
地味でも、一筋の光を意識した、落ち着いた色で描き進めたい。



■佐藤四郎太 (さとうしろうた) 新庄市在住

「祭壇」 6 5 × 4 8 cm アクリル
「造形思考Ⅰ」 F 8 0 油彩
「造形思考Ⅱ」 F 8 0 油彩

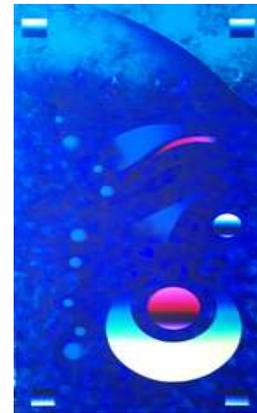
さまざまな試しをしています。これが本来の目的です。
今はアクリルを使って表現しています。



■田口富士雄 (たぐちふじお) 新庄市在住

「翼あるものへ・C」 M 1 2 0 アクリル
「草原のカーニバル」 M 1 2 0 アクリル
「翼あるものへ・D」 S 1 0 0 アクリル

叢に潜み、息を殺し、しっかりと蠢くものたちへ。
朝露の中で、透明な光りを浴び、やがて確実に始動する。



■本木 京一 (もとききょういち) 鮭川村在住

「SKY」 2013 変 150 号 アクリル

〈 訪れた静寂に 儂い心ふるわす
消え入るように眺める 大いなる光と影 〉



■渡辺 博之 (わたなべひろゆき) 新庄市在住

「鶴と浴女」 F 2 0 油彩
「小さなピエロ」 F 8 油彩

描きたいものを、ただ描いていきたい。



■伊藤 聡 (いとうさとし) 新庄市在住

「金山町大堰」 F 5 0 油彩
「忘れられたぬいぐるみ」 F 2 0 油彩
「自画像 2 0 1 4」 F 6 油彩

生きてゆく中で、制作できるということは、未知のものとの
出会えるとても貴重な時間を感じられます。



「アート」の息吹

新庄南高等学校 美術部 校外展

- 星川 裕美（ほしかわゆみ）2年
「感情」 F 1 2 油彩
「静物」 F 8 油彩

今までと比べ、短い制作時間だったので、多少焦りましたが、自分なりに納得のいく絵を描くことができたと思います。

- 大野 道子（おおのみちこ）2年
「いること」 S 8 0 油彩
「浮き」 F 8 油彩

自分の存在を表現しようと思って制作しました。奥行きが難しかったです。浮きは短い制作期間でしたが、まるい感じを大切に描きました。

- 今野 綾香（こんのあやか）2年
「静物」 F 8 油彩

よく見て描きました。

- 佐藤 滯奈（さとうれな）2年
「欲望」 F 1 0 油彩

人間が持っている欲望を描いてみました。唇を描くことで、食べ物に関する欲望を描きました。バランスや唇を描くのが大変でしたが、しっかり描くことができました。

- 菅 楓（すがかえで）2年
「社会」 B 4 ペン

時間がなく、相当ギリギリの中の制作で大変でした。様々なものが混在しているような不思議な世界観を描こうと苦労もありました。色々な立方体、直方体の面が上だったり下だったり横だったりしています。あちこち見てください。

- 近岡 早紀（ちかおかさき）2年
「静寂」 F 6 油彩

普段何かをじっくり見て変化を探すのが苦手なので、静物を描くことで、少しずつ変化を見つける楽しさを味わいたいと思いました。動かない物体でも、静かな存在感を出したいと思いました。



「いること」 S 8 0 H 2 5 県高文連会長賞

■沼澤 日菜（ぬまざわひな）2年
「静物」F6 油彩

ツヤのあるキャベツが引き立つようにあえて背景を白くしました。今回は、このような機会を与えていただきありがとうございます。

■青塚 舞（あおつかまい）1年
「時の階段」F73×52cm 油彩

私は画面構成にこだわりました。歯車と花で時を表し、学校の階段を描くことで、学校生活の短さ、はかなさを表しました。

■小野 瞳（おのひとみ）1年
「現実を見る」F15 油彩

今回は、幼い夢の中を抜け出して、現実を見て大人になりたい自分の心境を表現しました。

■早坂 望（はやさかのぞみ）1年
「栄枯盛衰」F15 油彩

栄えていたものにも、いつか必ず終わりが来る。
常に変わり続け同じようではないということを、この作品で表しました。

